

Contents

003 ▶ 監修のことば

	chapter	咬合の役割
006 ▶	01	咬合の果たす役割と影響の大きさを知ろう
	chapter	筋の触診
014 ▶	02	筋の評価は触診でこうやる 20秒でできる的確な筋触診法を修得しよう
	chapter	顎関節の触診
024 ▶	03	顎関節は触診でこう診断する チェアーサイドで行う病態ごとの簡便な臨床診断のポイント
	chapter	顎関節の診断
036 ▶	04	顎関節の的確な診断に不可欠な重要事項 顎関節のさまざまな病態と顎頭運動経路の特徴を理解する
	chapter	咬合採得
046 ▶	05	咬合採得で迷っていませんか 下顎安静位の安定性と中心位への適正な誘導
	chapter	CrBrの咬合①
056 ▶	06	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント① 咬頭嵌合位（中心咬合位）の接触関係はこれが有利 その違いと効果を熟知して臨床に生かす！
	chapter	CrBrの咬合②
068 ▶	07	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント② アンテリアガイダンスのこれが的確な構成基準
	chapter	CrBrの咬合③
076 ▶	08	クラウン・ブリッジ（有歯顎）の咬合ポイント③ 側方運動時に生じる臼歯接触への対応はこれが決め手 咬合調整を行うべきか否かの診断基準もここにある
	chapter	有床義歯の咬合
086 ▶	09	有床義歯の咬合はどうしていますか 機能を高める簡便で的確な咬合構成法
	chapter	インプラントの咬合
096 ▶	10	インプラント症例の安全な設定と咬合構成とは 的確な診断用ステントとサージカルガイド、そしてロードコントロールを
	chapter	1分間の Magic
108 ▶	11	フェイスボウトランスファーが咬合へ及ぼす絶大な効果を知る
	chapter	咬合器を知る
118 ▶	12	咬合器のここがわかれば使いこなせる 安全な側方ガイドと作業側方顎路角調節機構の必要性
	chapter	顎関節症の治療①
130 ▶	13	病態ごとの効果的なマニピュレーションとは 関節円板の前方転位と後方転位には、それぞれこう対応する
	chapter	顎関節症の治療②
146 ▶	14	奏功するスプリントはここがポイント ディコンプレッションとディプログラミングが決め手
	chapter	スポーツマウスガードの咬合
160 ▶	15	有効性の高いスポーツマウスガードの製作 国民がスポーツを生涯にわたって安全に行っていくために
	chapter	体位や頭位と咬合
166 ▶	16	体位や頭位が下顎位や咬合に及ぼす影響 さまざまな因子が下顎位に及ぼす影響を具体的に知り、臨床に活かす
	chapter	舌のトレーニング
172 ▶	17	“舌のトレーニング（舌トレ）”の効果 人生100年時代の健康寿命の延伸には“舌トレ”が有効
	chapter	唾液の効能
182 ▶	18	唾液の役割とアンチエイジング